

# ジェネリック医薬品使用促進の取組について (医療機関訪問の効果測定について)

# 1. 医療機関訪問の取組について

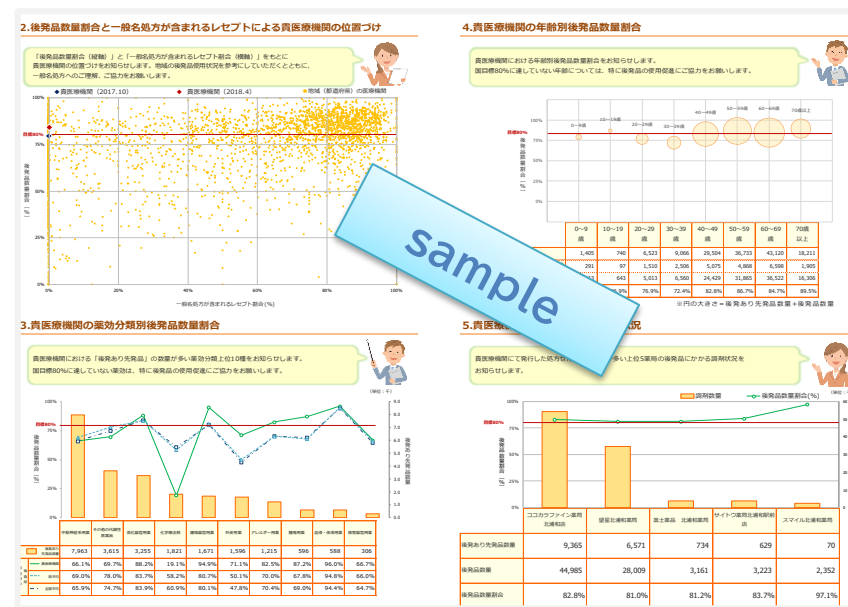
令和元年5月から令和2年2月にかけて、埼玉県内にあるジェネリック医薬品の使用割合に大きく影響を及ぼす医療機関をデータから抽出し、関東信越厚生局及び埼玉県と連携を図り、共に訪問を行った。

訪問時には、協会けんぽのデータを地域、年齢、薬効別等に分析した「ジェネリック医薬品のお知らせ」を医療機関ごとに作成し、使用促進の働きかけを実施した。

## 訪問実績

訪問日	医療機関名	住所
令和1年5月30日	A病院	さいたま市中央区
令和1年6月6日	B病院	蕨市
令和1年6月20日	C病院	さいたま市大宮区
令和1年7月2日	D病院	所沢市
令和1年7月11日	E病院	深谷市
令和1年8月7日	F病院	羽生市
令和1年10月18日	G病院	さいたま市大宮区
令和1年11月14日	H病院	白岡市
令和1年11月20日	I病院	越谷市
令和2年2月20日	J病院	東松山市

## ジェネリック医薬品のお知らせ



## 2.医療機関訪問の効果測定について

---

1. 医科、DPC、調剤レセプトを対象(歯科対象外)。

2. 以下の3つのグループに分けて使用割合及び使用割合の伸びについて測定。

① Aグループ

訪問した医療機関(10医療機関)

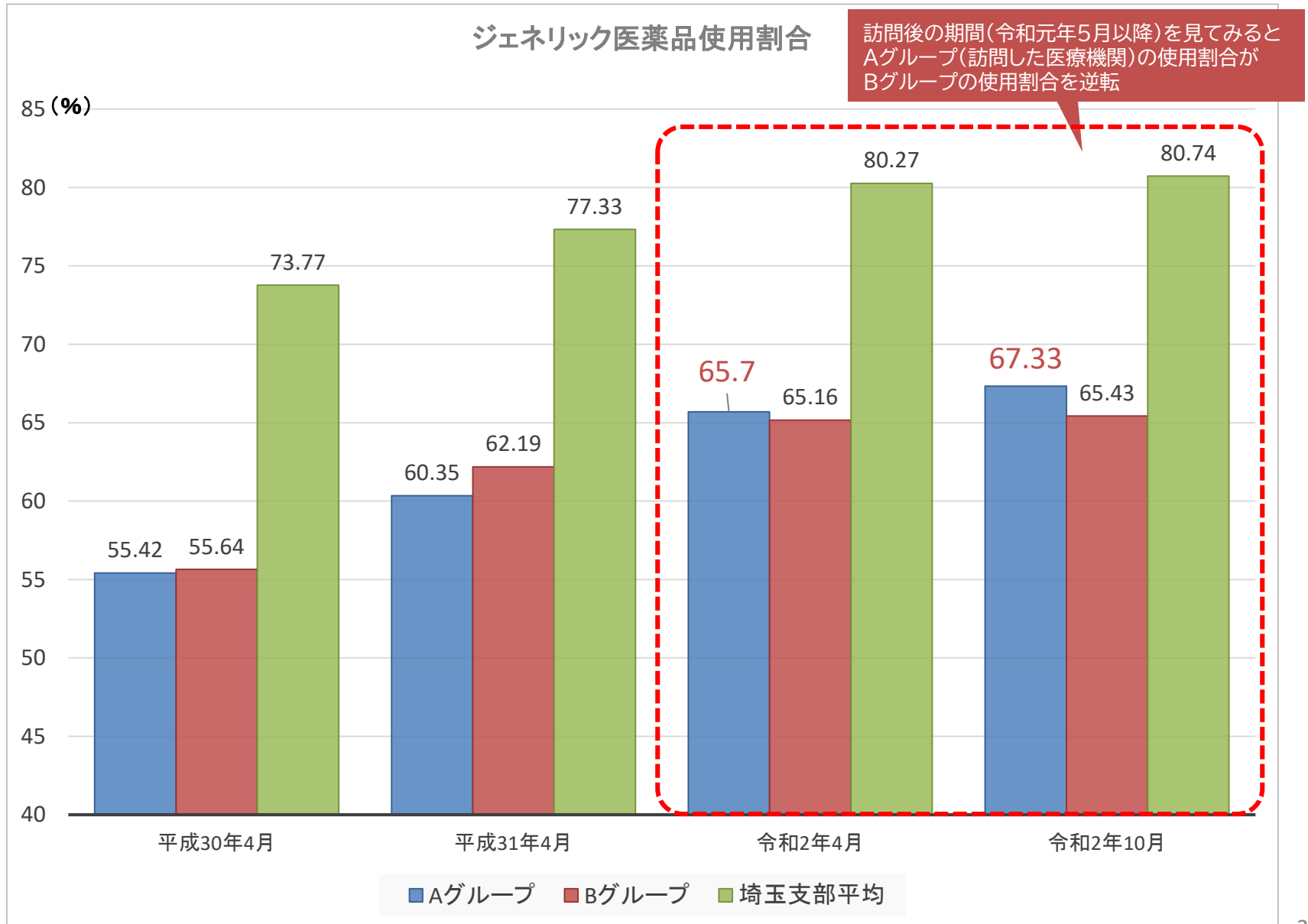
② Bグループ

訪問した医療機関と同程度の使用割合(平成30年4月分)の医療機関を抽出(12医療機関)

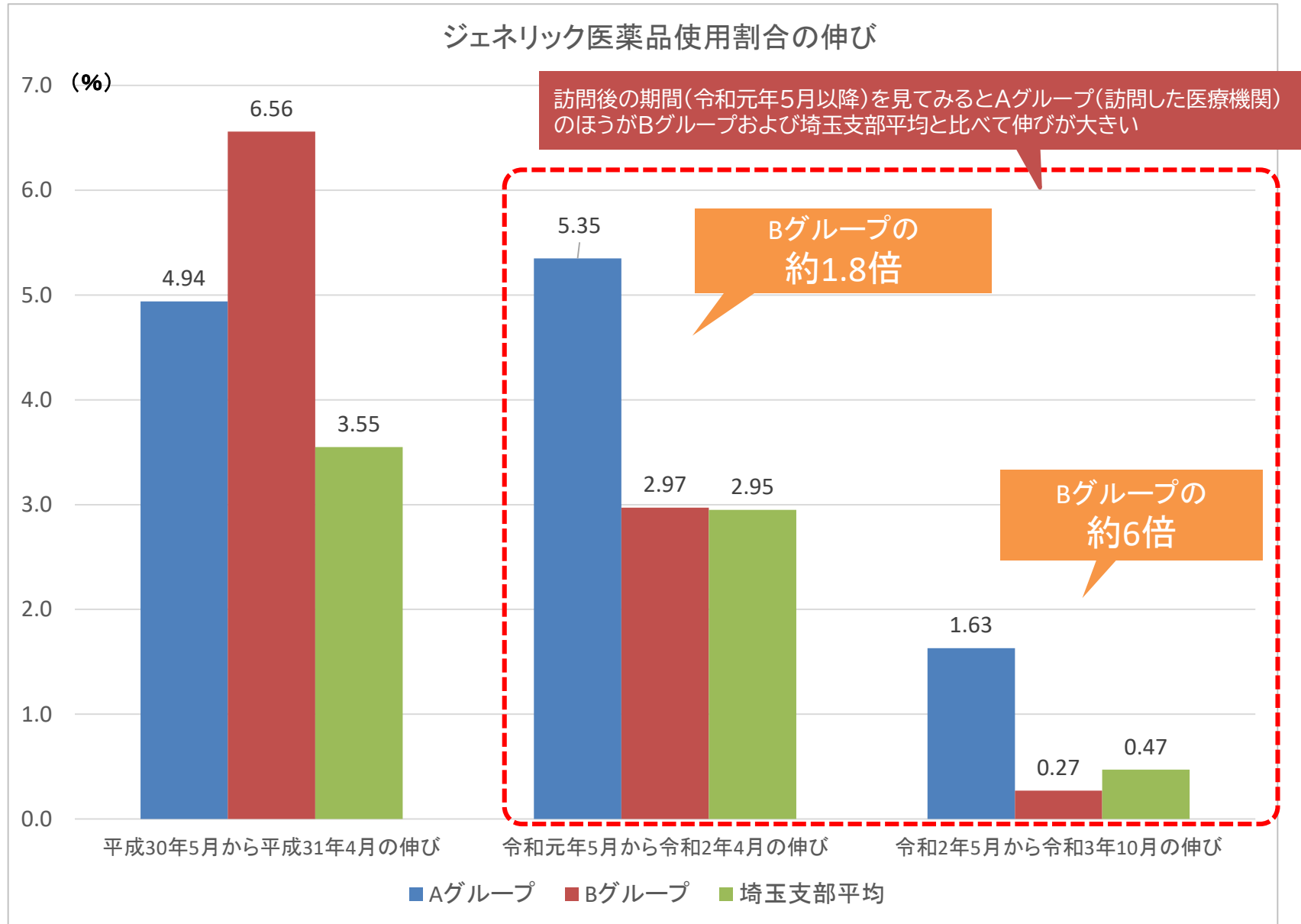
③ 埼玉支部平均

埼玉に所在地のある医療機関(約3,800医療機関)

## 2.医療機関訪問の効果測定について



## 2.医療機関訪問の効果測定について



## 2.医療機関訪問の効果測定について

6医療機関で埼玉支部平均の  
伸び(2.95%)を上回っている

NO.	医療機関名	平成31年4月	令和2年4月	差
1	A病院	45.7%	52.1% ↑	6.4%
2	B病院	38.2%	56.5% ↑	18.3%
3	C病院	65.8%	71.0% ↑	5.3%
4	D病院	69.0%	70.8% ↑	1.8%
5	E病院	67.9%	68.6% ↑	0.7%
6	F病院	69.2%	77.4% ↑	8.1%
7	G病院	49.6%	65.3% ↑	15.7%
8	H病院	22.4%	27.6% ↑	5.2%
9	I病院	62.5%	64.9% ↑	2.4%
10	J病院	45.6%	45.1% ↓	-0.5%

## 2.医療機関訪問の効果測定について

仮に10医療機関の使用割合の伸びが令和元年5月から令和2年4月までの埼玉支部平均の伸び(2.95%)と同じ場合、埼玉支部平均の使用割合は80.25%( $\Delta 0.03\%$ )となる。

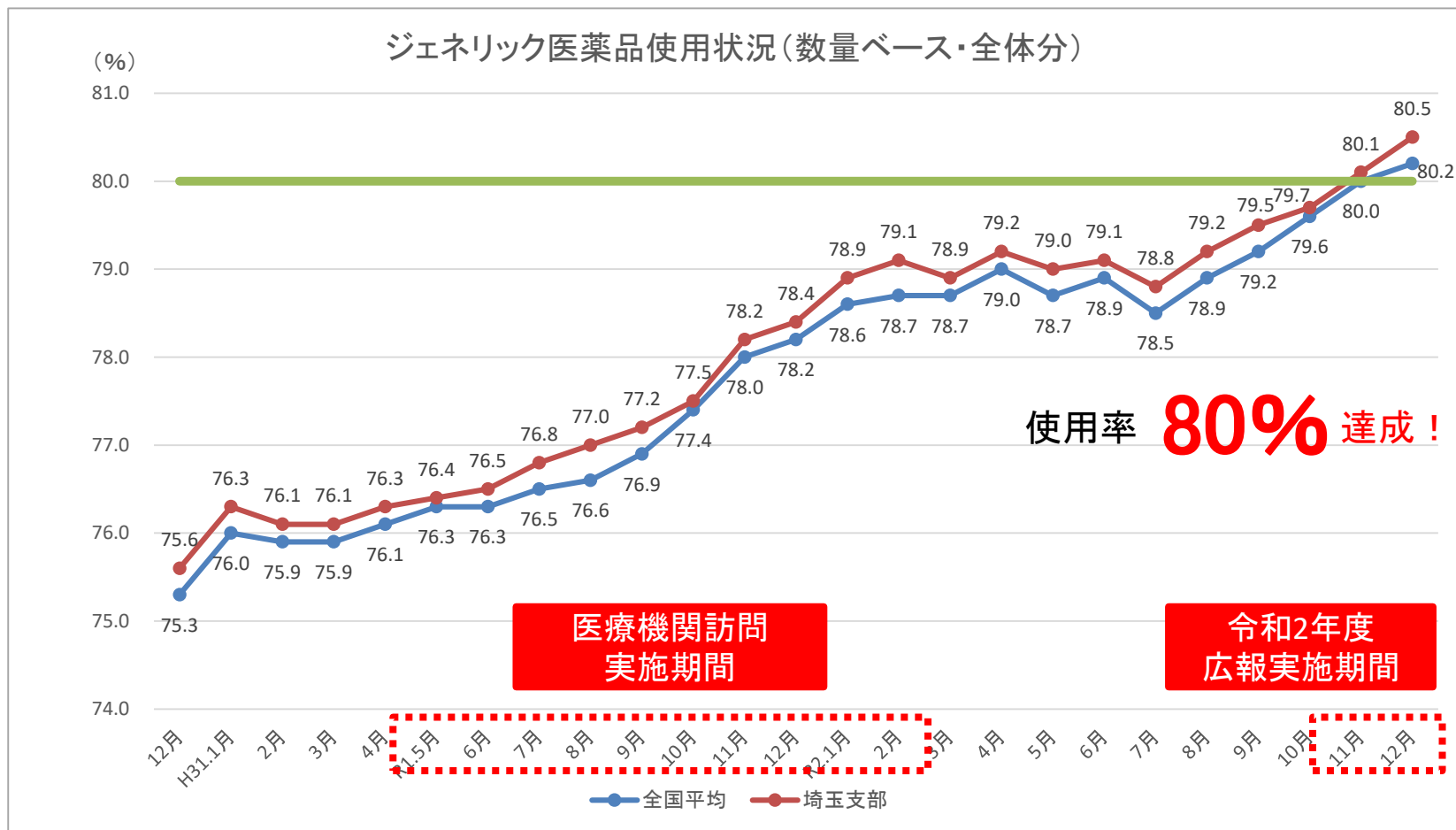
(実績値)	訪問した10医療機関	埼玉支部平均
令和2年4月分の 平均使用割合	65.71%	80.28%

影響度  
0.03%

(仮)	訪問した10医療機関	埼玉支部平均
令和2年4月分の 平均使用割合	63.30%	80.25%

### 3.ジェネリック医薬品の使用割合について

埼玉支部におけるジェネリック医薬品の使用割合について、令和2年11月には、  
当面の目標としていた80%を達成した。(直近令和2年12月診療分80.5%)



協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)